



神公一発第209号
平成27年 4月14日

公益社団法人全日本不動産協会神奈川県本部本部長
秋 山 始 殿

神奈川県警察本部警備部長
杉 本 伸 正



テロに強い社会の実現に向けた協力について（依頼）

標記の件について、次のとおり依頼しますので、お取り計らいのほどよろしくお願ひいたします。

記

日頃から、テロ・災害対策等の各種警察業務に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国では、平成28年には主要国首脳会議が、平成32年にはオリンピック・パラリンピック東京大会が開催される予定で、現下の情勢から、これら国際的に最高度の注目を集めて開催される行事が、国際テロ組織や過激化した個人によるテロ攻撃の対象となる可能性は否定できません。

そこで県警察では、不動産業界とテロに対する危機意識を共有することにより、官民一体となったテロに強い社会の実現に向けた態勢を構築したいと考えておりますので、趣旨を御理解の上、御協力をお願いいたします。



神奈川県警察からのお願い

テロの未然防止に向けて

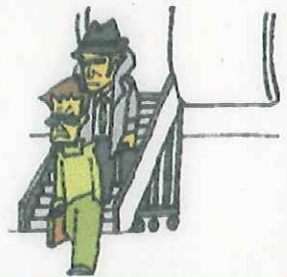
～「国際テロの脅威」が日本に迫っています～

～国際テロ組織からテロの標的として名指しされている～

- ・ 過去に、「アル・カーイダ」幹部による声明等において、日本はテロの標的として名指しされています。
- ・ また、シリアで日本人を殺害したISIL(いわゆるイスラム国)も「全ての日本人が標的になった」と声明を出しています。

～日本にも国際テロリストが潜伏～

- ・ 2003年12月にドイツで逮捕(殺人、爆弾テロ未遂)されたフランス人の国際テロリストが、他人名義の旅券を使用して日本に不法入出国を繰り返していたことが判明しています。



～テロの標的となる米国関連施設が多数存在～

- ・ オサマ・ビンラディン殺害時の押収資料から、同人が「韓国のような非イスラム国の米国権益に対する攻撃に力を注ぐべき」との考えを持っていたことが判明し、米軍基地などが多数存在する日本への脅威の一端が明らかになりました。

～リターンズ(帰還者)によるテロ～

- ・ 世界各地から外国人戦闘員がシリア等に流入し、その多くがISILに参加しているとみられ、その者たちが実戦経験を積み、帰還後にテロを敢行する事件が海外で発生しています。日本でも、ISILに戦闘員として参加することを目的にシリア渡航を企てた疑いのある者について捜査が行われています。

～ローンウルフ(一匹狼)型テロ～

- ・ テロ組織と関係ない者が、イスラム過激派のインターネットを利用した情報発信などにより過激な思想に感化され、組織の指示や支援を受けずに個人で行うテロをローンウルフ型テロと言います。米国ボストンマラソンで発生した爆弾テロがこれに該当します。



平成28年には「主要国首脳会議(サミット)」、平成32年には「オリンピック・パラリンピック東京大会」の開催を控えています。日本国内でテロ事件を発生させないため、不審情報の通報など、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。